

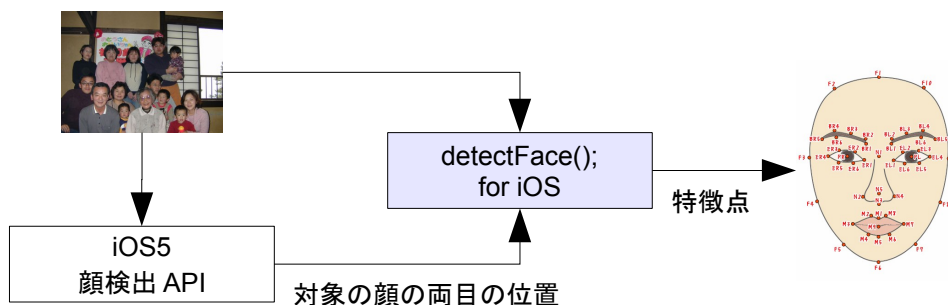
detectFace(); for iOS

2012年2月3日
インクリメント株式会社

detectFace(); for iOS の目的は、写真に写っている個々の顔について、目・鼻・口といった器官を表す 50 個の特徴点の位置を決める事です。これは次のように 2 段階の処理によって行われます。

- ① 写真に写っている顔を検出する。
- ② 検出された個々の顔について詳細な分析を行って特徴点を決める。

detectFace(); for iOS はこのうち②の処理を行います。①の処理については iOS5 が標準で備えている顔検出 API を使用する事を想定しています。つまり、iOS の顔検出 API から得られた顔の両目の位置を detectFace(); に写真と共に入力することで、対象の顔についての 50 個の特徴点を求めることができます。



※iOS4 では顔検出 API を使う事ができませんが、OpenCV を使って実装した代替機能を組み込んだ、特別版の detectFace(); を使用できます。ただし、これは iOS5 の顔検出 API に比べるとずっと遅い上に、実行時にとても大きなデータファイルを必要とします。

動作環境	iOS5 推奨、iOS4 では前述の特別版を使用できます。
開発環境	Xcode4.2 以降
提供形態	Framework (静的リンク専用)
サンプルコード	サンプルアプリのプロジェクトを提供します。
その他	OpenCV の一部を静的にリンクしています。